

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 13

東北森林管理局

取組名	木材利用の利用促進の取組（継続）			
流域名	三八・上北流域			
森林管理署名	三八上北森林管理署			
実施箇所及び実施日	三八上北森林管理署 幌内山国有林外 平成23年9月10日			
取組の背景及び必要性	三八・上北流域の人工林面積は、民有林と国有林とを合わせて約100千haあり、従来からスギを中心とした木造住宅が多い地域であるため、地域材の利用促進を図るため実施した。			
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】</p> <p>地域住民を対象に公募を行い、素材生産現場、製材工場、青森県産材使用長寿命化木造住宅の見学等を実施し、森林から伐採され製品として利用されるまでの過程を通じ、地域材の利用促進を図っている。</p> <p>【平成23年度の取組内容】</p> <p>一般から応募のあった7名に対し、素材生産現場、ブナの巨木、製材工場、青森県産材使用長寿命化住宅を見学し上北地域県民局の職員からあおもり型県産材エコポイント制度の説明も行われ、立木が伐採され製品として利用されるまでの一連の流れの理解が図られた。</p>			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">国有林担当部局・役割</td> <td>三八上北森林管理署 (公募・取りまとめ、車両準備、関係者への協力依頼等)</td> </tr> <tr> <td>連携協働相手先・役割</td> <td>上北地域県民局地域農林水産部（あおもり型県産材エコポイント制度の説明等） 上北森林組合（製材工場見学協力等） 有限会社岩木建設（モデルハウス見学協力等）</td> </tr> </table>	国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署 (公募・取りまとめ、車両準備、関係者への協力依頼等)	連携協働相手先・役割
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署 (公募・取りまとめ、車両準備、関係者への協力依頼等)			
連携協働相手先・役割	上北地域県民局地域農林水産部（あおもり型県産材エコポイント制度の説明等） 上北森林組合（製材工場見学協力等） 有限会社岩木建設（モデルハウス見学協力等）			
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>初めて見る素材生産現場での伐倒の迫力や高性能林業機械を使用した作業に興味と関心を持っていただき、大きな成果が得られた。</p> <p>木材がどのように生産されるかや間伐の必要性を一般の方々に知ってもらうことは重要であることから、今後も見学場所等について引き続き検討を要する。</p>			
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>PR：地元新聞社へ公募記事掲載依頼、署HPへの掲載等</p> <p>効果：①森林や木の良さを実感していただく。 ②木造住宅の良さを実感していただく。 ③地域材を利用した木造住宅の増加を期待する。</p>			

【 参 考 資 料 】

取 組 名 木材利用の利用促進の取組（継続）



素材生産請負現場見学



日本一のブナの巨木「森の神」見学



製材工場見学



木質バイオマスボイラー見学



モデルハウスの見学

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 14

東北森林管理局

取組名	低コスト作業システムの推進に向けた取組（継続）
流域名	三八・上北流域
森林管理署名	三八上北森林管理署
実施箇所及び実施日	三八上北森林管理署 方平国有林 平成23年10月13日
取組の背景及び必要性	三八・上北流域における林業においては、伐採・搬出作業の低コスト化が重要な課題となっており、高性能林業機械等の普及・定着に向けて民国一体となって取り組んでいる。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 低コスト作業システムの推進を図るため、三八・上北流域活性化センターと連携し、林業関係者を対象に現地検討会を実施している。</p> <p>【平成23年度の取組内容】 国有林内をフィールドに昨年度制定された森林作業道作設指針に基づく森林作業道の考え方、バックホウによる作設、排水に配慮した線形、根株の処理、洗い越し、丸太組工など実演しながら現地検討会を開催した。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署、局販売課 (企画、事前踏査、関係機関との連絡調整、会場準備等)
連携協働相手先・役割	三八・上北流域林業活性化センター (参加者の取りまとめ)
取組の結果、反響、今後の課題等	低コストで壊れにくい森林作業道の普及や効率的な作業仕組みが見学でき大きな成果が得られた。 今後も継続して実施することにより、より一層の普及・定着が図られることから、継続を要望する意見が寄せられた。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：地元新聞社へプレスリリース 効果：作業の効率化・低コスト化による間伐面積の増加が期待される。

【 参 考 資 料 】

取 組 名 低コスト作業システムの推進に向けた取組（継続）



開会式の模様



森林作業道作設の実演



洗い越しの検討の様子



丸太を利用した作設した洗い越し



丸太積工の説明の様子



意見交換の様子

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 15

東北森林管理局

取組名	森林ボランティアパトロール員等による登山者等への保護巡視・啓発活動（継続）
流域名	三八・上北流域
森林管理署名	三八上北森林管理署
実施箇所及び実施日	十和田八幡平国立公園 三八上北森林管理署管内国有林
取組の背景及び必要性	近年、登山者の大衆化に伴い、人為による植生の荒廃等が懸念されることから、保護巡視活動及び啓発活動を行う必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】</p> <p>森林ボランティアパトロール員及びグリーン・サポート・スタッフにより、高山植物等の保護巡視活動及び啓発活動を実施してきている。</p> <p>【平成23年度の取組内容】</p> <p>森林ボランティアパトロール員等により、人為による植生荒廃や森林機能の低下の防止を図るため、登山者等に対し、保護巡視活動及び啓発活動を実施した。</p>
	<p>国有林担当部局・役割</p> <p>三八上北森林管理署 (公募・身分証明書交付式の準備等)</p>
	<p>連携協働相手先・役割</p> <p>—</p>
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>森林パトロールや森林環境美化活動を通じ、高山植物等の保護、人為による植生荒廃等の防止、不法投棄等の防止に貢献した。</p> <p>森林ボランティアパトロール員やグリーン・サポート・スタッフが国有林を巡視していることをPRする必要がある。</p>
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>PR：地元新聞社へプレスリリース</p> <p>効果：高山植物等の保護、人為による植生荒廃等の防止が図られる。</p>

【 参 考 資 料 】

取 組 名	森林ボランティアパトロール員等による登山者等への保護巡視・啓発活動
-------	-----------------------------------



辞令交付の様様



安全指導の様様



安全指導の様様



衛星電話の訓練の様子



入山者へマナーの呼びかけ



看板の点検整備

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 16

東北森林管理局

取組名	ふれあいの森・遊々の森における森林環境教育（継続）
流域名	三八・上北流域
森林管理署名	三八上北森林管理署
実施箇所及び実施日	三八上北森林管理署 谷地国有林 ・ふれあいの森（田中建設工業（株））平成23年6月4日 ・ふれあいの森（青森県生協連）平成23年6月5日 ・ふれあいの森（おいらせ知の会）平成23年6月25日 ・遊々の森（青森県立三本木高校附属中学校） 平成23年10月3日～5日
取組の背景及び必要性	地域住民が自然に親しみ交流を図るためのフィールドを提供し、林業体験活動や森林環境教育等を通じて、森林の役割やその重要性について、理解の醸成を図るため実施している。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】</p> <p>「ふれあいの森」の協定を締結している3団体が実施する植樹活動等を支援するほか、森林教室等の森林環境教育を実施してきた。</p> <p>また、平成20年度末に、青森県立三本木高校附属中学校と「遊々の森（三本木 夢と生命の森）」の協定を締結した。</p> <p>【平成23年度の取組内容】</p> <p>「ふれあいの森」における植樹指導や森林教室等の実施、「遊々の森」における植樹指導等を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署 （企画・立案の支援・協力、道具類準備、植樹指導等）
連携協働相手先・役割	青森県生活協同組合連合会、田中建設工業（株）、おいらせ知の会、青森県立三本木高等学校・附属中学校 （企画・立案、植樹活動等）
取組の結果、反響、今後の課題等	林業体験活動等の森林とのふれあいを通じ、森林・林業に対する理解が深まった。 また、植樹活動等の林業体験活動は青少年の育成に必要であることから、フィールドの提供の拡大及び支援の強化を要望する意見があった。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：地元新聞社への記事掲載依頼、署HPへ掲載等 効果：植樹活動等の森林とのふれあいを通じて、森林の役割やその重要性について、理解の醸成が図られる。

【 参 考 資 料 】

取 組 名 ふれあいの森・遊々の森における森林環境教育（継続）

○田中建設工業（株）



○青森県生活協同組合連合会



○おいらせ^{とも}知の会



○遊々の森（三本木 夢と命の森）



平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 17

東北森林管理局

取組名	松見の滝周辺の森林散策（継続）
流域名	三八・上北流域
森林管理署名	三八上北森林管理署
実施箇所及び実施日	
取組の背景及び必要性	地域住民に対し、森林散策等の自然に親しむ機会を提供することにより、森林をより身近に感じていただき、その役割や重要性について、理解の醸成を図るため実施している。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 地域住民を対象に参加者を公募し、国有林内の景勝地「松見の滝」までの道のりを散策し、森林の役割やその重要性についての理解の醸成を図ってきた。</p> <p>【平成23年度の取組内容】 応募があった30名に対し、10月15日に実施する計画をしたが、雨天のため翌週に延期したが、またも雨天のため実施できなく今年度の森林散策は中止とした。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署（企画、事前踏査、公募掲載依頼、車両準備、傷害保険加入手続き、資料作成等）
連携協働相手先・役割	株式会社コバヤシ （社有地の通行許可等）
取組の結果、反響、今後の課題等	今後は、参加希望者が多いことから、地元NPO等との連携し少しでも多くの方が参加できるよう取り組む。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：地元新聞社へ公募記事掲載依頼、署HPへの掲載等 効果：森林の役割やその重要性について理解を深めていただくことにより、森林・林業及び国有林に対する理解と協力が図られる。

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 18

東北森林管理局

取組名	十和田市環境まつりへの参加・協力（継続）
流域名	三八・上北流域
森林管理署名	三八上北森林管理署
実施箇所及び実施日	青森県十和田市 中央公園緑地 平成23年4月29日～30日
取組の背景及び必要性	<p>十和田市では、市民の緑化意識の高揚と市民生活の向上に寄与することを目的として、毎年「環境緑化まつり」を開催している。</p> <p>当署としても、森林・林業及び国有林をPRする絶好の機会と捉え、毎年、参加・協力をしている。</p>
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 十和田市が主催する春まつりである「十和田市環境緑化まつり」に参加し、県・上北地方林業振興協議会及び森林組合等と連携して森林コーナーを設定し、地域材の利用促進、森林・林業及び国有林のPRを行ってきた。</p> <p>【平成23年度の取組内容】 森林コーナーの一角に国有林コーナーを設定し、国有林の業務内容を分かりやすく説明したPRパネルの展示、キノコの植菌体験、木工品の展示・販売等を行い、森林・林業及び国有林のPRを行った。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署（関係機関との打合せ、PRパネルの展示、キノコ植菌体験準備、木工品の販売等）
連携協働相手先・役割	十和田市、上北地域県民局、森林組合等（企画、広報、準備等）
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>一般の方々が多数集まるイベントであり、国有林の大きなPRの場になった。</p> <p>地域住民に地域材や森林・林業についてPRすることは、重要なことであり、継続を要望する意見があった。</p> <p>今後とも、PR効果の高い内容等について検討する必要がある。</p>
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>PR：市広報誌、ポスター掲示等</p> <p>効果：地域材の利用促進と森林・林業及び国有林への理解の醸成が期待される。</p>

【参考資料】

取組名 十和田市環境まつりへの参加・協力（継続）



国有林コーナー



P R パネルの展示



キノコ菌打体験の様子



緑の募金をする子供



木製オセロ遊ぶ様子

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 19

東北森林管理局

取組名	森林・林業及び国有林のPRイベント開催（継続）
流域名	三八・上北流域
森林管理署名	三八上北森林管理署
実施箇所及び実施日	青森県十和田市 三八上北森林管理署庁舎敷地内 平成23年6月18日
取組の背景及び必要性	従来から「森林ふれあい祭」として同様のイベントを実施していたものを、平成19年3月の署庁舎の新築を契機に、地域住民に森林・林業及び国有林を広くPRすることを目的に実施している。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】</p> <p>県・市・森林組合等の共催により、署庁舎敷地内において木工体験教室等の様々な催しを行い、木のぬくもりにふれあう機会を提供してきた。</p> <p>【平成23年度の取組内容】</p> <p>「^{もり}森林の恵みの環境祭」と題し、山遊びスタンプラリー（丸太ボーリング、丸太切り、丸太釣り等）林産物販売、アート^{とも}の森（樹書展・チェンソーアート等）、等の様々な催しを行い、木のぬくもりにふれあう機会を提供するとともに、国有林PRパネルの展示等により、森林・林業及び国有林のPRを行った。</p>
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署（企画、共催機関との連絡調整、公告宣伝、会場準備外）
連携協働相手先・役割	上北森林組合・上十三地区森林組合・おいらせ知 ^{とも} の会・青い森カービングクラブ・(社)ガールスカウト日本連盟青森県第10団・上北県民局・十和田市（各コーナーの出展準備外）
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>日頃ふれあうことの少ない、木のぬくもりや森林の恵みに接し、木の良さや国有林をPRすることができ、大きな成果が得られた。</p> <p>今後とも、興味をいだかせるような新たな取組や広告宣伝の方法等について検討する必要がある。</p>
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>PR：地元新聞社へプレスリリース、市広報誌掲載、新聞折込チラシ</p> <p>効果：森林・林業及び国有林への理解と協力が期待される。</p>

【 参 考 資 料 】

取 組 名 森林・林業及び国有林のPRイベント開催（継続）



開会式の模様



丸太ボーリング



丸太切り



チェーンソーアート実演



手作り鍋の振る舞い



三本木高等学校附属中学校樹書展

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 20

東北森林管理局

取組名	木質バイオマス資源の利用促進への取組（新規）	
流域名	三八・上北流域	
森林管理署名	三八上北森林管理署	
実施箇所及び実施日	青森県十和田市西二十番町 青森県上北郡東北町字新館	平成23年8月3日 平成23年12月1日
取組の背景及び必要性	近年の地球温暖化防止・循環型社会の形成等、バイオマス資源の利活用推進の高まりの中で、地域の伐採跡地等の残存する木質資源の有効活用を図る。	
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 平成21年9月に発足した「上北地域バイオマス普及調査研究会」と連携し、国有林の情報を発信し民有林の情報を共有することにより、地域におけるバイオマス資源量を的確に把握し有効活用の方法等について検討する。</p> <p>【平成23年度の取組内容】 上北地域木質バイオマス普及推進研究会と県林政課が共催した「燃料チップ供給システム検討会」に参加し情報交換等を行い、今後の方策について検討を行った。また、「木質燃料チップ低コスト生産に係る実証試験の開催」に参加し意見交換を行った。</p>	
国有林担当部局・役割	三八上北森林管理署 （研究会へ参加、国有林内の資源量の把握等）	
連携協働相手先・役割	三八・上北流域活林業活性化センター、上北地域県民局、各市町村、各森林組合、林業事業体等 （関係機関との連絡調整、研究会への参加）	
取組の結果、反響、今後の課題等	今後とも、木質バイオマス資源量等の国有林における情報については、積極的に提供し、木質バイオマスエネルギーの有効活用に努める。	
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：署ホームページへ掲載 効果：木質バイオマス資源の有効活用とCO ₂ 排出削減効果が見込まれる。	

【 参 考 資 料 】

取 組 名 木質バイオマス資源の利用促進への取組（新規）



研修会の開会式



自走式木材破砕機の説明



破砕機へ木材の投入



破砕される様子



意見交換の様子



半年間野積みされた材の計量

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 21

東北森林管理局

取組名	民国連携による間伐材販売促進への取組（継続）
流域名	三八・上北流域
森林管理署名	三八上北森林管理署
実施箇所及び実施日	三八上北森林管理署 平成24年2月23日
取組の背景及び必要性	当流域の人工林資源は充実期を迎えており、その資源を活かし林業を復権させる態勢づくりが必要である。そのため周辺の民有林と連携することにより、間伐における低コスト化が図られ、間伐収入の確保により間伐の促進が期待される。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 当流域では、平成21年12月に「間伐材販売連携研究会」を立ち上げ、民国が連携して取り組む旨の意思統一がなされた。</p> <p>【平成23年度の取組内容】 平成22年度に実施した民国が連携した間伐材の共同山元土場へ巻立て行い、大ロットでの有利販売の連携について、第6回の研究会を開催して取りまとめや今後の取組について意見交換を行った。</p>
国有林担当部局・役割	東北森林管理局青森事務所、三八上北森林管理署（分析・検証関係機関との対応等）
連携協働相手先・役割	青森県森林組合連合会、森林組合、青森県森林整備事業協同組合等（研究会での意見交換等）
取組の結果、反響、今後の課題等	民国が連携することによる土場の共有や大ロットでの間伐材の販売については、当初の期待どおりの効果が得られなかった面もあるが、森林所有者へは間伐の収益が配分され喜ばれている。
PRの実施状況及びその期待する効果	効果：民国が連携して間伐を実施することで、森林所有者への収益が配分が図られ、間伐の推進が期待される。

【 参 考 資 料 】

取 組 名	民国連携による間伐材販売促進への取組（継続）
	<p data-bbox="288 1025 600 1066">青森事務所長の挨拶</p> <p data-bbox="691 1809 863 1850">会議の様子</p>